平成27年2月18日

各位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(発行者コード：20314)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

上場ETN（発行者：ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス・エヌ・ブイ）に関する日々の開示事項

ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス・エヌ・ブイを発行者として上場する以下のETN銘柄について、日々の開示事項の状況をご報告します。

上場ETN　銘柄（17銘柄）

掲載番号	銘柄	銘柄コード	上場取引所
1	NEXT NOTES 香港ハンセン・ダブル・ブルETN	2031	東
2	NEXT NOTES 香港ハンセン・ベアETN	2032	東
3	NEXT NOTES 韓国KOSPI・ダブル・ブルETN	2033	東
4	NEXT NOTES 韓国KOSPI・ベア ETN	2034	東
5	NEXT NOTES 日経平均VI先物指数ETN	2035	東
6	NEXT NOTES 日経・TOCOM 金 ダブル・ブルETN	2036	東
7	NEXT NOTES 日経・TOCOM 金 ベア ETN	2037	東
8	NEXT NOTES 日経・TOCOM 原油 ダブル・ブル ETN	2038	東
9	NEXT NOTES 日経・TOCOM 原油 ベア ETN	2039	東
10	NEXT NOTES NYダウ・ダブル・ブル・ドルヘッジ ETN	2040	東
11	NEXT NOTES NYダウ・ベア・ドルヘッジ ETN	2041	東
12	NEXT NOTES 東証マザーズ ETN	2042	東
13	NEXT NOTES STOXXアセアン好配当50（円、ネットリターン）ETN	2043	東
14	NEXT NOTES S&P500 配当貴族(ネットリターン) ETN	2044	東
15	NEXT NOTES S&P シンガポール リート(ネットリターン) ETN	2045	東
16	NEXT NOTES インドNifty・ダブル・ブル ETN	2046	東
17	NEXT NOTES インドNifty･ベア ETN	2047	東

※各銘柄の状況につきましては、次のページ以降をご参照下さい。なお、各銘柄名をクリックして頂くと、各銘柄の状況が表示されます。

以上

[掲載番号1]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2031）
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 香港ハンセン・ダブル・ブルETNに関する日々の開示事項

１．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　（平成27年2月17日 現在）

60,000　口

２．ETNの残存償還価額総額　（平成27年2月17日 現在）

802,860,000　円

３．ETNの一証券あたりの償還価額　（平成27年2月17日 現在）

13,381　円

４．ETNの一証券あたりの償還価額と円換算したハンセン指数・レバレッジインデックスの終値の変動率に係る乖離率

（平成27年2月17日 現在）

※日本円の換算は、平成27年2月17日ロンドン時間午後４時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値と香港ドル／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1香港ドル＝15.335円）により、計算しています。

0.00　%

（参考）乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 13,381円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 13,264円}} - \frac{\text{円換算したハンセン指数・レバレッジインデックスの終値 293,298円}}{\text{前営業日の円換算したハンセン指数・レバレッジインデックスの終値 290,722円}}\right) \times 100\ (\%)$$

５．連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン指数・レバレッジインデックスは、日々の騰落率が、香港ハンセン指数（プライス・リターン）の騰落率の2倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間におけるハンセン指数・レバレッジインデックスの騰落率は、一般に香港ハンセン指数（プライス・リターン）の2倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間におけるハンセン指数・レバレッジインデックスの騰落率と香港ハンセン指数（プライス・リターン）の騰落率の2倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、香港ハンセン指数（プライス・リターン）の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。また、香港ハンセン指数（プライス・リターン）は、配当を加味していない株価指数であり、配当を加味した株価指数に比して配当落ち分だけ減価します。

以上

[掲載番号 2]

各　位

発 行 者 名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2032）
代 表 者 名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問 合 せ 先　野　村　證　券　株　式　会　社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 香港ハンセン・ベア ETN に関する日々の開示事項

１．　上場 ETN 信託受益証券の上場受益権口数　（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

60,000　口

２．　ETN の残存償還価額総額　（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

630,120,000　円

３．　ETN の一証券あたりの償還価額　（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

10,502　円

４．　ETN の一証券あたりの償還価額と円換算したハンセン指数・ショートインデックスの終値の変動率に係る乖離率

（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

※日本円の換算は、平成 27 年 2 月 17 日 ロンドン時間午後４時頃に発表される日本円／米ドルの WM ロイター仲値と香港ドル／米ドルの WM ロイター仲値から算出した為替レート（1 香港ドル＝15.335 円）により、計算しています。

0.00　%

（参考）　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETN の一証券あたりの償還価額 } 10{,}502\text{ 円}}{\text{前営業日の ETN の一証券あたりの償還価額 } 10{,}484\text{ 円}} - \frac{\text{円換算したハンセン指数・ショートインデックスの終値 } 111{,}930\text{ 円}}{\text{前営業日の円換算したハンセン指数・ショートインデックスの終値 } 111{,}734\text{ 円}}\right) \times 100\ (\%)$$

５．　連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン指数・ショートインデックスは、日々の騰落率が、香港ハンセン指数（トータル・リターン）の騰落率の-1 倍として計算される指数です。ただし、2 営業日以上離れた期間におけるハンセン指数・ショートインデックスの騰落率は、一般に香港ハンセン指数（トータル・リターン）の-1 倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2 営業日以上離れた期間におけるハンセン指数・ショートインデックスの騰落率と香港ハンセン指数（トータル・リターン）の騰落率の-1 倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、香港ハンセン指数（トータル・リターン）値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号3]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2033)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 韓国KOSPI・ダブル・ブルETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

60,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

627,780,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

10,463　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と円換算した韓国総合株価指数200レバレッジインデックスの終値の変動率に係る乖離率
(平成27年2月17日 現在)

※日本円の換算は、平成27年2月17日ロンドン時間午後４時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値と韓国ウォン／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1韓国ウォン=0.10798円）により、計算しています。

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 10{,}463\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 10{,}368\text{円}} - \frac{\text{円換算した韓国総合株価指数200レバレッジインデックスの終値 } 24.05\text{円}}{\text{前営業日の円換算した韓国総合株価指数200レバレッジインデックスの終値 } 23.83\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標の特徴と留意点

韓国総合株価指数200レバレッジインデックスは、日々の騰落率が、韓国総合株価指数200（プライス・リターン）の騰落率の2倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間における韓国総合株価指数200レバレッジインデックスの騰落率は、一般に韓国総合株価指数200（プライス・リターン）の2倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間における韓国総合株価指数200レバレッジインデックスの騰落率と韓国総合株価指数200（プライス・リターン）の騰落率の2倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、韓国総合株価指数200（プライス・リターン）の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。また、韓国総合株価指数200（プライス・リターン）は、配当を加味していない株価指数であり、配当を加味した株価指数に比して配当落ち分だけ減価します。

以上

[掲載番号4]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2034)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 韓国KOSPI・ベア ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

60,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

811,560,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

13,526　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と円換算した韓国総合株価指数200(先物)・インバースインデックスの終値の変動率に係る乖離率
(平成27年2月17日 現在)

※日本円の換算は、平成27年2月17日 ロンドン時間午後4時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値と韓国ウォン／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1韓国ウォン=0.10798円）により、計算しています。

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 13,526円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 13,483円}} - \frac{\text{円換算した韓国総合株価指数200(先物)・インバースインデックスの終値 99.99円}}{\text{前営業日の円換算した韓国総合株価指数200(先物)・インバースインデックスの終値 99.68円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標の特徴と留意点

韓国総合株価指数 200（先物）・インバースインデックスは、日々の騰落率が、韓国総合株価指数 200（先物）の騰落率の-1 倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間における韓国総合株価指数200（先物）・インバースインデックスの騰落率は、一般に韓国総合株価指数200（先物）の-1倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間における韓国総合株価指数200（先物）・インバースインデックスの騰落率と韓国総合株価指数200（先物）の騰落率の-1 倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、韓国総合株価指数 200（先物）の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号5]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2035)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 日経平均VI先物指数 ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

65,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

3,138,395,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

48,283　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と日経平均ボラティリティー・インデックス先物指数の終値の変動率に係る乖離率

(平成27年2月17日 現在)

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 48,283円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 48,905円}} - \frac{\text{日経平均ボラティリティー・インデックス先物指数の終値 37,541円}}{\text{前営業日の日経平均ボラティリティー・インデックス先物指数の終値 38,023円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標と本商品の値動きに関する留意点

本商品は、「日経平均ボラティリティー・インデックス」ではなく、「日経平均ボラティリティー・インデックス先物指数」への連動を目指しており、その価値は、もし本商品が「日経平均ボラティリティー・インデックス」への連動を目指していた場合に有していたであろう価値を下回るおそれがあります。ただし「日経平均ボラティリティー・インデックス」は理論的に計算された指標であり、取引可能な指標ではありません。
また本商品が連動を目指す「日経平均ボラティリティー・インデックス先物指数」は、この指数を構成する日経平均 VI 先物の限月間に通常、価格差があるため、本商品の満期時または償還時に支払われる金額が、その価格差がなかった場合と比べて、減少する可能性があります。

以上

[掲載番号6]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ･ﾖｰﾛｯﾊﾟ･ﾌｧｲﾅﾝｽ･ｴﾇ･ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2036）
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 日経・TOCOM 金 ダブル・ブル ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　（平成27年2月17日 現在）

150,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　（平成27年2月17日 現在）

1,613,100,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　（平成27年2月17日 現在）

10,754　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と日経･東商取金レバレッジ指数の終値の変動率に係る乖離率

（平成27年2月17日 現在）

0.00　%

（参考）乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 10,754円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 10,819円}} - \frac{\text{日経･東商取金レバレッジ指数の終値 16,790円}}{\text{前営業日の日経･東商取金レバレッジ指数の終値 16,891円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標の特徴と留意点

日経･東商取金レバレッジ指数は、日々の騰落率が、日経･東商取金指数の騰落率の2倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間における日経･東商取金レバレッジ指数の騰落率は、一般に日経･東商取金指数の2倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間における日経･東商取金レバレッジ指数の騰落率と日経･東商取金指数の騰落率の2倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、日経･東商取金指数の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号 7]

各　位

発 行 者 名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2037）
代 表 者 名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問 合 せ 先　野　村　證　券　株　式　会　社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 日経・TOCOM 金 ベア ETN に関する日々の開示事項

１．　上場 ETN 信託受益証券の上場受益権口数　（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

60,000　口

２．　ETN の残存償還価額総額　（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

528,360,000　円

３．　ETN の一証券あたりの償還価額　（平成 27 年 2 月 17 日 現在）

8,806　円

４．　ETN の一証券あたりの償還価額と日経･東商取金インバース指数の終値の変動率に係る乖離率　（平成 27 年 2 月 17 日現在）

0.00　%

（参考）　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETN の一証券あたりの償還価額 } 8{,}806\text{ 円}}{\text{前営業日の ETN の一証券あたりの償還価額 } 8{,}780\text{ 円}} - \frac{\text{日経･東商取金インバース指数の終値 } 5{,}913\text{ 円}}{\text{前営業日の日経･東商取金インバース指数の終値 } 5{,}895\text{ 円}}\right) \times 100\ (\%)$$

５．　連動対象指標の特徴と留意点

日経･東商取金インバース指数は、日々の騰落率が、日経･東商取金指数の騰落率の-1 倍として計算される指数です。ただし、2 営業日以上離れた期間における日経･東商取金インバース指数の騰落率は、一般に日経･東商取金指数の-1 倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2 営業日以上離れた期間における日経･東商取金インバース指数の騰落率と日経･東商取金指数の騰落率の-1 倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、日経･東商取金指数の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号8]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ･ﾖｰﾛｯﾊﾟ･ﾌｧｲﾅﾝｽ･ｴﾇ･ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2038）
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 日経・TOCOM 原油 ダブル・ブル ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　（平成27年2月17日 現在）

7,480,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　（平成27年2月17日 現在）

40,077,840,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　（平成27年2月17日 現在）

5,358　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と日経･東商取原油レバレッジ指数の終値の変動率に係る乖離率　（平成27年2月17日 現在）

0.00　%

（参考）乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 5,358\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 5,270\text{円}} - \frac{\text{日経･東商取原油レバレッジ指数の終値 } 7,325\text{円}}{\text{前営業日の日経･東商取原油レバレッジ指数の終値 } 7,204\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標の特徴と留意点

日経･東商取原油レバレッジ指数は、日々の騰落率が、日経･東商取原油指数の騰落率の 2 倍として計算される指数です。ただし、2 営業日以上離れた期間における日経･東商取原油レバレッジ指数の騰落率は、一般に日経･東商取原油指数の 2 倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2 営業日以上離れた期間における日経･東商取原油レバレッジ指数の騰落率と日経･東商取原油指数の騰落率の 2 倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、日経･東商取原油指数の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号9]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ･ﾖｰﾛｯﾊﾟ･ﾌｧｲﾅﾝｽ･ｴﾇ･ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2039)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 日経・TOCOM 原油 ベア ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

60,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

670,740,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

11,179　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と日経･東商取原油インバース指数の終値の変動率に係る乖離率　(平成27年2月17日 現在)

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 11{,}179\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 11{,}274\text{円}} - \frac{\text{日経･東商取原油インバース指数の終値 } 6{,}745\text{円}}{\text{前営業日の日経･東商取原油インバース指数の終値 } 6{,}802\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標の特徴と留意点

日経･東商取原油インバース指数は、日々の騰落率が、日経･東商取原油指数の騰落率の-1 倍として計算される指数です。ただし、2 営業日以上離れた期間における日経･東商取原油インバース指数の騰落率は、一般に日経･東商取原油指数の-1 倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2 営業日以上離れた期間における日経･東商取原油インバース指数の騰落率と日経･東商取原油指数の騰落率の-1 倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、日経･東商取原油指数の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号10]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2040)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES NYダウ・ダブル・ブル・ドルヘッジETNに関する日々の開示事項

1．　上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　（平成27年2月17日 現在）

160,000　口

2．　ETNの残存償還価額総額　（平成27年2月17日 現在）

2,121,440,000　円

3．　ETNの一証券あたりの償還価額　（平成27年2月17日 現在）

13,259　円

4．　ETNの一証券あたりの償還価額とダウ・ジョーンズ工業株価平均レバレッジ（2倍）・インデックス（円ヘッジ）の終値の変動率に係る乖離率　（平成27年2月17日 現在）

0.00　%

（参考）　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 13,259円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 13,215円}} - \frac{\text{ダウ・ジョーンズ工業株価平均レバレッジ（2倍）・インデックス（円ヘッジ）の終値 1,276円}}{\text{前営業日のダウ・ジョーンズ工業株価平均レバレッジ（2倍）・インデックス（円ヘッジ）の終値 1,272円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．　連動対象指標と本商品の値動きに関する留意点

ダウ・ジョーンズ工業株価平均レバレッジ（2倍）・インデックス（円ヘッジ）は、日々の騰落率が、ドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（プライス・リターン）の騰落率の2倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間におけるダウ・ジョーンズ工業株価平均レバレッジ（2倍）・インデックス（円ヘッジ）の騰落率は、一般に、ドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（プライス・リターン）の2倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間におけるダウ・ジョーンズ工業株価平均レバレッジ（2倍）・インデックス（円ヘッジ）の騰落率とドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（プライス・リターン）の騰落率の2倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、ドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（プライス・リターン）の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（プライス・リターン）は、配当を加味していない株価指数であり、配当を加味した株価指数に比して配当落ち分だけ減価します。

以上

[掲載番号11]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2041）
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES NYダウ・ベア・ドルヘッジETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　（平成27年2月17日 現在）

320,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　（平成27年2月17日 現在）

2,592,320,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　（平成27年2月17日 現在）

8,101　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額とダウ・ジョーンズ工業株価平均インバース（-1倍）・インデックス（円ヘッジ）の終値の変動率に係る乖離率　（平成27年2月17日 現在）

0.00　%

（参考）乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 8,101円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 8,115円}} - \frac{\text{ダウ・ジョーンズ工業株価平均インバース(-1倍)・インデックス(円ヘッジ)の終値 483円}}{\text{前営業日のダウ・ジョーンズ工業株価平均インバース(-1倍)・インデックス(円ヘッジ)の終値 484円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標と本商品の値動きに関する留意点

ダウ・ジョーンズ工業株価平均インバース（-1 倍）・インデックス（円ヘッジ）は、日々の騰落率が、ドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（トータル・リターン）の騰落率の-1倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間におけるダウ・ジョーンズ工業株価平均インバース（-1 倍）・インデックス（円ヘッジ）の騰落率は、一般に、ドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（トータル・リターン）の-1倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間におけるダウ・ジョーンズ工業株価平均インバース（-1倍）・インデックス（円ヘッジ）の騰落率とドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（トータル・リターン）の騰落率の-1 倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、ドル/円ヘッジされたダウ・ジョーンズ工業株価平均（トータル・リターン）値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上

[掲載番号12]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2042)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES 東証マザーズ ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

860,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

8,291,260,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

9,641　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と東証マザーズ指数の終値の変動率に係る乖離率

(平成27年2月17日 現在)

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 9{,}641\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 9{,}618\text{円}} - \frac{\text{東証マザーズ指数の終値 } 866\text{円}}{\text{前営業日の東証マザーズ指数の終値 } 864\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

以上

[掲載番号13]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
（銘柄コード：2043）
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES STOXXアセアン好配当50（円、ネットリターン）ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　（平成27年2月17日 現在）

160,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　（平成27年2月17日 現在）

1,912,960,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　（平成27年2月17日 現在）

11,956　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額とSTOXXアセアン好配当50（円、ネットリターン）の終値の変動率に係る乖離率

（平成27年2月17日 現在）

0.00　%

（参考）　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 11,956円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 11,947円}} - \frac{\text{STOXXアセアン好配当50（円、ネットリターン）の終値 4,991円}}{\text{前営業日のSTOXXアセアン好配当50（円、ネットリターン）の終値 4,987円}}\right) \times 100\ (\%)$$

以上

[掲載番号14]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2044)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES S&P500 配当貴族(ネットリターン) ETNに関する日々の開示事項

１．　上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

2,500,000　口

２．　ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

26,497,500,000　円

３．　ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日現在)

10,599　円

４．　ETNの一証券あたりの償還価額と円換算したS&P500 配当貴族指数(課税後配当込み)の終値の変動率に係る乖離率

(平成27年2月17日 現在)

※日本円の換算は、平成27年2月17日ロンドン時間午後４時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1米ドル＝118.985 円）により、計算しています。

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 10{,}599\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 10{,}550\text{円}} - \frac{\text{円換算したS\&P500 配当貴族指数(課税後配当込み)の終値 } 43{,}687\text{円}}{\text{前営業日の円換算したS\&P500 配当貴族指数(課税後配当込み)の終値 } 43{,}485\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

以上

[掲載番号15]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2045)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES S&P シンガポール リート(ネットリターン) ETNに関する日々の開示事項

１．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

500,000　口

２．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

5,137,500,000　円

３．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

10,275　円

４．ETNの一証券あたりの償還価額と円換算したS&P シンガポールREIT指数(課税後配当込み)の終値の変動率に係る乖離率

(平成27年2月17日 現在)

※日本円の換算は、平成27年2月17日ロンドン時間午後４時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値とシンガポールドル／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1シンガポールドル=87.737円）により、計算しています。

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 10,275\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 10,217\text{円}} - \frac{\text{円換算したS\&P シンガポールREIT指数(課税後配当込み)の終値 } 41,460\text{円}}{\text{前営業日の円換算したS\&P シンガポールREIT指数(課税後配当込み)の終値 } 41,225\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

以上

[掲載番号16]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2046)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES インドNifty・ダブル・ブル ETNに関する日々の開示事項

1．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

160,000　口

2．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

1,756,160,000　円

3．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

10,976　円

4．ETNの一証券あたりの償還価額と円換算したNifty レバレッジ(2倍)インデックス(プライスリターン)の終値の変動率に係る乖離率

(平成27年2月17日現在)

※日本円の換算は、平成27年2月17日ロンドン時間午後4時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値とインドルピー／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1インドルピー＝1.9125 円）により、計算しています。

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 10,976円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 10,929円}} - \frac{\text{円換算したNifty レバレッジ(2倍)インデックス(プライスリターン)の終値 7,847円}}{\text{前営業日の円換算したNifty レバレッジ(2倍)インデックス(プライスリターン)の終値 7,814円}}\right) \times 100\ (\%)$$

5．連動対象指標の特徴と留意点

Nifty レバレッジ(2 倍)インデックス(プライスリターン)は、日々の騰落率が、CNX NIFTY 指数（プライス・リターン）の騰落率の2 倍として計算される指数です。ただし、2 営業日以上離れた期間における Nifty レバレッジ(2 倍)インデックス(プライスリターン)の騰落率は、一般にCNX NIFTY指数（プライス・リターン）の2倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間におけるNifty レバレッジ(2倍)インデックス(プライスリターン)の騰落率とCNX NIFTY指数（プライス・リターン）の騰落率の2倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、CNX NIFTY 指数（プライス・リターン）の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。また、CNX NIFTY 指数（プライス・リターン）は、配当を加味していない株価指数であり、配当を加味した株価指数に比して配当落ち分だけ減価します。

以上

[掲載番号17]

各　位

発行者名　ﾉﾑﾗ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧｲﾅﾝｽ・ｴﾇ・ﾌﾞｲ
(銘柄コード：2047)
代表者名　社長兼業務執行取締役　針ヶ谷　真朝
問合せ先　野村證券株式会社
ストラクチャード・プロダクト部
塩田　誠　TEL　03－3211－1811

NEXT NOTES インドNifty・ベア ETNに関する日々の開示事項

１．上場ETN信託受益証券の上場受益権口数　(平成27年2月17日 現在)

60,000　口

２．ETNの残存償還価額総額　(平成27年2月17日 現在)

586,380,000　円

３．ETNの一証券あたりの償還価額　(平成27年2月17日 現在)

9,773　円

４．ETNの一証券あたりの償還価額と円換算したNifty デイリーインバースインデックス(トータルリターン)の終値の変動率に係る乖離率

(平成27年2月17日 現在)

※日本円の換算は、平成27年2月17日 ロンドン時間午後４時頃に発表される日本円／米ドルのWMロイター仲値とインドルピー／米ドルのWMロイター仲値から算出した為替レート（1インドルピー＝1.9125 円）により、計算しています。

0.00　%

(参考)　乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{ETNの一証券あたりの償還価額 } 9{,}773\text{円}}{\text{前営業日のETNの一証券あたりの償還価額 } 9{,}732\text{円}} - \frac{\text{円換算したNifty デイリーインバースインデックス(トータルリターン)の終値 } 764\text{円}}{\text{前営業日の円換算したNifty デイリーインバースインデックス(トータルリターン)の終値 } 760\text{円}}\right) \times 100\ (\%)$$

５．連動対象指標の特徴と留意点

Nifty デイリーインバースインデックス(トータルリターン)は、日々の騰落率が、CNX NIFTY トータル・リターン指数の騰落率の-1倍として計算される指数です。ただし、2営業日以上離れた期間におけるNifty デイリーインバースインデックス(トータルリターン)の騰落率は、一般にCNX NIFTY トータル・リターン指数の-1倍とはならず、計算上、差（ずれ）が不可避に生じます。
2営業日以上離れた期間におけるNifty デイリーインバースインデックス(トータルリターン)の騰落率とCNX NIFTY トータル・リターン指数の騰落率の-1倍との差（ずれ）は、当該期間中の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性がありますが、一般に、CNX NIFTY トータル・リターン指数の値動きが上昇・下降を繰り返した場合に、マイナスの方向に差（ずれ）が生じる可能性が高くなります。また、一般に、期間が長くなれば長くなるほど、その差（ずれ）が大きくなる傾向があります。したがって、本商品は、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品です。

以上